



越善靖夫会長の「よさこい下北」開会挨拶



「よさこい下北」では演舞で会場を魅了（上：東通小学校 下：和心伝心）

2日間の運行を行った蒲野沢の大黒山

最終日は「よさこい下北」と「郷土芸能特別公演」。東通小学校6年生が、新調した衣装で元気いっぱいよさこいを披露しました。よさこいパレードの後には、今年初めての試みとして蒲野沢地区の大黒山の山車が役場庁舎前を運行。初日の装いとは趣を変え、色鮮やかな装飾で練り歩くと、よさこいに参加した踊り手や沿道の子ども達も参加し、微笑ましい雰囲気にも包まれた一幕でした。一方、ステージでは大道芸人アットさんがジャグリングを披露し、トリ★ポンの2人が楽しいトークと歌のショーで会場を沸かせました。そして、最後は村が誇る郷土芸能で、2日間のフェスタ、東通村の短い夏を締めくくりました。

を開催。続く演芸会では、かつてその芸で名を馳せたレジェンド役者たちが、貫禄の舞台で感動を巻き起こしました。初日の締めくくりは、連合婦人会の皆さんが主役となった盆踊り大会。東通音頭や下北小唄といった郷土の唄に誘われ、多くの方が踊りの輪に参加しました。



かさまいゾーンでは、イカの姿揚げなど、今年初出展の「六景楽市」(左)が賑わいを見せ、新発売の「ひがしどおり十割そば」(右)も販売。

白糠勇清倶楽会（上：翁）  
砂子又郷友会（中：さんば）  
岩屋青年会（下：信夫）  
今年は10年ぶり以上となる盆踊り大会も開催し、婦人会の皆さんが揃いの浴衣で華を添えました。



婦人会の皆さんをお手本に観客も参加